

国際ロータリー 第2510地区
2007-2008年度

ガバナー月信

No.02
2007

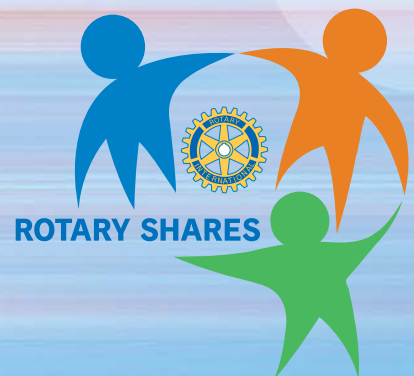
08

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

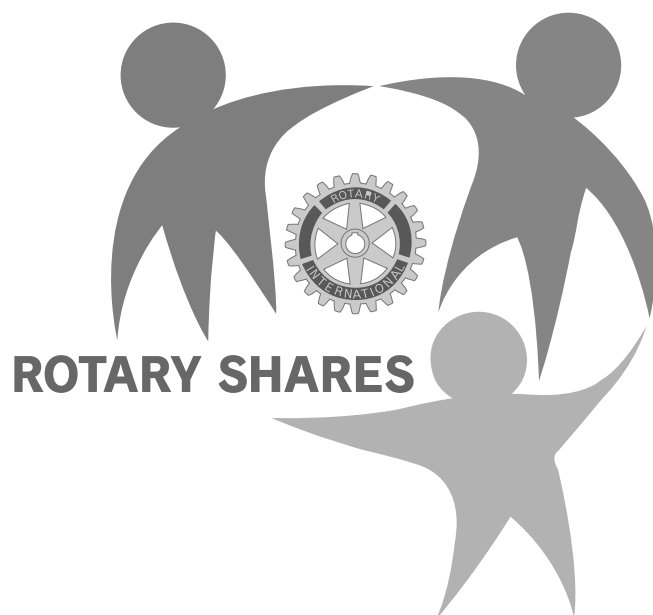
2007-2008



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510



国際ロータリー2510地区 酒井 正人 MASATO SAKAI
2007-2008年度ガバナー
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3階
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 E-mail:rid2510@nifty.com
URL:<http://www.ri2510.gr.jp/>



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

CONTENTS

酒井ガバナー挨拶	1
丸山淳士会員増強委員長メッセージ	2
2007 - 08年度地区委員会活動計画	3
地区大会のご案内	13
新会員の紹介/訃報/文庫通信(238号)	14
例会曜日・例会時間・例会場の変更等について	15
ロータリーの友/ガバナー事務所からお願い	16
地区カレンダー	17



人は石垣、人は城

2007～2008年度国際ロータリー

第2510地区ガバナー 酒井 正 人

私の趣味はアマチュア無線です。中学生の頃から続けています。ロータリーにも親睦活動として世界規模の Rotarians Of Amateur Radio (ROAR) があり毎朝、無線で例会を行っております。そのメンバーのお一人である中津中央ロータリークラブの会員から、多分激励の意図でしょう、私の地区ガバナー就任早々、一枚のDVDとバナーが送られてきました。中津ロータリークラブ輩出の向笠廣次元国際ロータリー会長(1982-83、日本人二人目のRI会長)の肖像をデザインしたバナーと平成3年8月22日中津平成ロータリークラブでの卓話の動画でした。

その卓話の最初の部分を紹介します。「どういうきっかけでロータリアンになったかということ、1956年のことです。私の友達に眼科の医者をやっているロータリアンがいて、私に入会を勧めてくれました。当時私は非常に忙しい状態で、毎週決まった時間に決まった場所に行くということは、とうてい出来ないと断りました。そのまま入らないでいれば、こんな楽しいロータリーという世界があるのを一生知らずに終わったと思います。いまの会長のコスター氏は、私と同期の理事であります。仲の良い友達の一人ですが、その彼は“自分はどんなにお金を出しても買うことのできない大きなコレクションを持っている”とよく言います。コレクションとは、世界中にいる親しい友人達のことを指しているのです。私のような医者は、どうしても限られた人間との付き合いしかできないで終わるのですが、幸いなことに、その眼科の医者は、私に断られても何度も“ロータリーはこんなよいことがあるのだ”と言って勧めてくれました。とうとう私は根負けしてしまい、ロータリーに入ることになりました。彼のお陰でロータリアンになって、コスター会長と同じように世界中に多くの親しいコレクションを持って、楽しいロータリー生活を送っております。私が最も感謝しているのは、その男があきらめずにロータリーの入会を勧めてくれたことであり、感謝の気持ちを失うことは決してないと思っております。」中略「もし、ロータリアンになってもらいたいという素晴らしい人がいたら、決して一度や二度断られたぐらいであきらめず、必死になって説得することが必要じゃないかと思います」

2007年-08年度の国際ロータリー会長ウィルキンソン氏はテーマに「ロータリーは分かちあいの心」を掲げました。そして、その一つに「ロータリーを分かちあう」ようにとされており、つまり次の世代を担うロータリアンとロータリーの楽しさを分かちあうことです。ロータリーの歴史は100年を超えました。クラブの平均年齢は毎年上がっております。ロータリーが200年を迎えるためには後継者をつくり、ロータリーのDNAを引き継がなければなりません。これを裏付けるように2007年度の規定審議会において制定案07-57「ロータリー財団学友が正会員となることを認める件」が可決されました。ロータリーのDNAを持った会員の受け入れ準備が整いつつあるのです。私達の周りには多くのロータリー家族がおります。ロータリアンに相応しい方がたくさんおります。向笠廣次氏をロータリーへ入会をさせた情熱を私達も未来に向けて持たなければならぬのではないのでしょうか。

私は今、つい先日放映されたNHK大河ドラマ風林火山での武田晴信の言葉を思い出しています。「生涯甲斐には城は造らない、人は堀、人は石垣、人は城」・・・この素晴らしいロータリーを分かちあいましょう。





会員増強について

地区会員増強委員会

委員長 丸山 淳士

(札幌真駒内RC・PG)

集団を大きく2つに分けることが出来る。閉鎖集団と解放集団である。

閉鎖集団の特徴として、敵対集団を持つこと、入会すると脱会することは禁止されること、常に独裁者が支配していること、すべての会員は依存しあって存在することである。

それに対し解放集団は自立した人々の集まりであり、敵対集団を持たず、入会後の脱会も自由であること、独裁者が存在しないことである。

ロータリークラブは自立した人々の集まりであるから、当然のことながら解放集団である。ロータリーの内外に門戸を開放していなければならない。秘密結社や閉鎖集団では決してないのである。

ところが、世間一般の人々は「金持ちの老人クラブ」「暇人の集まり」「地位が高い偉い人の集まり」等々のささやきが聞こえるのである。

そもそもロータリーは、エリート集団とは決して言えない人々の集まりから始まった。しかし、日本においては米山梅吉氏を中心となって創設したときに、経済界上層部の人々が集まったのが、そもそも世間一般のイメージ作りに誤解を与えることとなってしまった。

日本における会員増強の障害になっているのはこのイメージが根強いためである。

一線で活躍している真面目な経営者がなんとなく飛び込みづらい雰囲気を持つこととなっていると思われる。

地方に於いては会社の規模も大きな差異もなく、活動自体も親近感の持てる実践的活動が多く、住民にもアピールしやすい雰囲気があり、会員の努力によって増強がしやすい環境がある。都会においては地方よりも競争が激しいだけ会社の規模も大きく異なり、得てして個人主義に陥りやすい雰囲気があるので、それだけに会員の獲得は困難を極めていると思われる。

しかし、どんな集団でも放置していれば消滅してしまうことは明らかである。

永続に集団を維持するためには新会員を常に補充していく必要がある。

退会防止という言葉は、retentionという英語を訳したものであるが、本来の意味は「留めておく」という意味である。しかし、解放集団にあっては会員を拘束して留めておくことは決して出来ないし、留めておく必然性もない。

集団に過大な期待を持って入会した人々は当然のことながら退会に至る。これらの人々を引き留めておくことは無意味なことと思う。

むしろ、機会があれば、思いこみが間違っていたことに気がついたときには再入会して欲しいことを伝えるだけでよいのではないかと思う。

それよりも、一人の会員が一人の会員を推薦する気持ちが大事なことと思う。

少子化は女性の出産数によって起こってくるが、ロータリー会員は男女を問わずすべての会員に出産の機会が提供されている。

楽しい例会、楽しい奉仕活動、会員一人一人がロータリーを楽しむことによって、自ずと会員は増強されると信じている。

しかし、黙っていても新しい会員は近寄ってこない。会員一人一人が機会を捉えて仲間を増やす努力を忘れてはいけないと考える。

2007-08年度地区委員会活動計画



地区拡大委員会

委員長 佐藤 秀雄 (千歳RC・PG)

1. 活動方針

1. 会員増強は、3つの部分から成り立っている。1つは新会員の勧誘であり、2つ目は現会員の退会防止であり、3つ目が新クラブの結成である。当地区では2004～2005年度に「函館セントラルロータリークラブ」が結成されてから、その後の拡大がない。
2. 地区での未結成の地域を調査し、拡大に努めたい。

2. 活動計画

1. ガバナー補佐会議に出席し、未結成地域の情報とり、積極的に行動を展開する。
2. ガバナーの公式訪問時に、各クラブの会長・幹事に拡大についての情報を聞き取り当委員会に情報を提供頂き、委員会として拡大に向けて行動を展開する。



地区オン・ツー・ロサンゼルス委員会

委員長 塚原 房樹 (札幌東RC・PG)

ロサンゼルスは、見所も多く日本人の親しみやすい街です。

会員皆さんの参加しやすいスケジュールを組みます。

私と丸山パスト・ガバナーとご一緒にカリフォルニアの青い空の下で、来年（2008年）の国際大会に出席しませんか。



地区会員増強委員会

委員長 丸山 淳士 (札幌真駒内RC・PG)

1. 活動方針

会員増強と退会防止は2つで1セットの柱です。

現代社会の現象として、どんな種類の集団でも会員数が減少している現実があります。しかし、この現実を無策で見過ごすわけにはいきません。

友情と親睦の輪を広げるために、みんなで「すぐ声をかけよう」を合い言葉に、新会員を発掘しなければなりません。

退会防止はクラブの奉仕活動の充実が基本となります。みんなで参加する奉仕活動の掘り起こしと、成し遂げた充実感が退会防止につながります。

全員参加型の活動の提案をするように努力します。

2. 活動計画

1. 「すぐ声をかけよう」運動の推進。
2. 各地域における奉仕活動の掘り起こし。
3. 委員（ガバナー補佐）による、各クラブ訪問時に増強、退会防止の強調を実施。
4. 他地域からの会員有資格者の情報提供を呼びかける。
5. 1クラブ1名の純増を目指す。



地区文献資料室

委員長 肘 井 博 行 (札幌手稲RC)

1. 活動方針

ロータリーの発展を踏まえ、新しい時代に相応しい文献資料の整理、収集に努める。

2. 活動計画

- ①地区内各クラブおよび多くの会員に利用していただくよう、広報を工夫する。
- ②ビジュアルな資料など、今の時代に相応した親しみやすい資料を用意して活用を活性化する。



地区クラブ奉仕委員会

委員長 堅 田 進 (伊達RC)

1. 活動方針

本年度の地区ガバナーの目標に基づき、ロータリー奉仕の活性化を率先して行うことを目指したい。

ロータリークラブの有用的かつ効率的な運用を行うこととしたい。

クラブ例会の有用性を求めたい。

2. 活動計画

1) 地区リーダーシップ・プラン (DLP)、クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP)

長いロータリーの歴史の上に育て上げられてきた従来の、クラブ組織ではなく、会員数減少におけるクラブ運営の中で、次なるステップのために、新しい推奨細則をいかにクラブに適合するかを各クラブで考えていただく。

2) ロータリーの広報について

ロータリークラブの活動、運動を広報する事により、ロータリーを理解していただける事をもう少し表に現れるようにしてみようではないかと思えます。

3) ロータリー情報について

ロータリーは日々その時代を反映して変化しています。

その変化を会員がその情報をより理解するようしていきたい。

4) クラブ例会について

魅力ある例会にする為の、切り口を見出してゆきたい。



地区職業奉仕委員会

委員長 土 谷 享 (札幌幌南RC)

1. 活動方針

1. 2007-08年度国際ロータリー、ウィルフレッド J. ウィルキンソン会長のテーマは、「Rotary Shares」「ロータリーは分かちあいの心」です。

「超我の奉仕」のテーマで新世紀がスタートしたロータリーの根幹ともいべき「職業奉仕」理念に基づいて、各自の職場・地域社会で奉仕の実践を通し「ロータリーは分かちあいの心」の指針に応じて、普及及び実践に努めます。

2. 2007-08年度R I 第2510地区、酒井正人ガバナーの地区目標「三項目」に従い、職業奉仕を通して、何を誰と分かちあえるかを捜して共に実践します。

2. 活動計画

1. 各クラブ会員に職業奉仕の意識が高まるよう、職業奉仕に関する「クラブ・フォーラム」「勉強

- 会」の実施を奨励します。
2. 職業奉仕に関する「クラブ卓話」での講演者の要請に応えます。
 3. 職業奉仕に関する資料・文献などの配布または紹介して、各クラブでの職業奉仕活動がより活発になるよう努力します。



地区社会奉仕委員会

委員長 小山 秀 昭 (札幌手稲RC)

1. 活動方針

ロータリー活動の基本はロータリアン個人そして各クラブの活動が原点です。各クラブがそれぞれの地域の足元を見直し、地域の要望を捉え「各クラブと会員個人自らが社会奉仕活動の行動する」に必要な情報を提供する。

2. 活動計画

1. 「意見交換会」の実施

各クラブから提出された「クラブの活動計画書」に基づき地区内を四つのグループに分けクラブ委員長を中心に「クラブの社会奉仕活動」の発表と意見交換を行う。

2. 各クラブの活動計画書の取り纏めとその活動内容を分析しジャンル別に仕分けする。

3. 「小中学校での授業・小中学校の職業体験」の協力会員の追加募集と名簿の整理。



地区IC委員会

委員長 坂 井 治 (千歳セントラルRC)

1. 活動方針

1. インターネットを通じての情報交換と必要な情報を各クラブに効率的に伝達する。また、クラブIC化への協力をおこなう。

2. 委員会メンバーの相互交流によるレベルアップを図る。

オンライン（インターネット上）、オフライン（委員会などを開き直接会う）で情報提供を行うことによりお互いのレベルアップを図り、所属グループや各クラブへフィードバックする。

3. 地区委員会とクラブの距離を近づけるお手伝いをする。

4. 地区ホームページとガバナー月信などの連携を密にし、速報性を生かした運営をする。

2. 活動計画

(1) メールマガジンの配信

RI、ロータリーの友などからインターネットを介して流通する情報および地区内の情報を速やかにガバナーはじめ地区内の会員に電子メールを通じて配信する。

(2) 地区ホームページの作成

地区から発信する情報および地区内各グループ、各クラブからの情報を掲載し情報の共有化とクラブ間の親睦の補助的役割を果たす。

地区委員会と連携しクラブにとって地区が身近なものになるようにする。

また速報性を生かし月信などの記事をより早くクラブに伝えることが出来るようにする。

(3) インターネット活用の普及促進

インターネットの優位性や経済性はかなり浸透してきているものと考えられるので、今一歩進んだ有効利用について考える。

(4) クラブホームページ作成のバックアップ

地区内26クラブ 国内941クラブ (2007年02月現在)

(5) クラブ携帯ホームページの普及のバックアップ（今年度も啓蒙活動）



地区新世代委員会

委員長 松見修二（函館北RC）

1. 活動方針

— 昨日・今日そして明日に向ってわかし“愛”の心を —

1. 新世代のプログラムをロータリアン一人ひとりに広く理解して戴くことに努めます。
2. 次世代を担う新世代の人々に今ロータリーは何をなすべきかを検証します。
3. インサイドワークを充実して、アウトサイドワークへの拡大を図ります。
4. 新世代活動を広報を活用して促進を図ります。

— ロータリー家族・新世代をよろしく —

将来社会の発展に貢献される若い人びとにロータリーの奉仕の理念に接して戴きながら、ロータリー家族である新世代と共に奉仕の楽しさと感動を共有できるプロジェクトを目指します。

2. 活動計画

1. 地区内各クラブ新世代委員会との情報交換を密にして地区委員会との連帯感を深めます。
新世代が世界に適用する指導力を培う機会に恵まれるように、青少年の指導者育成プログラムの取組を奨励します。
クラブ例会、グループの事業、IM等のプログラムにご検討下さい。
2. 9月の『新世代のための月間』で「ロータリアンは青少年の模範」という標語をクラブ会報や広報資料を活用されるように奨励します。
3. 高校生を中心としたインターアクト委員会で実践される世界平和の取組みを支援します。インターアクト活動を通じて指導力の養成、他の人たちへの思いやりとなる心構えを養い実践できる機会を奨励します。
4. ローターアクト委員会は行動する、青年男女の奉仕を通じて親睦と国際交流を支援します。
5. 青少年交換委員会が実践するロータリー親善使節の留学生交換プログラムを支援します。プログラムの推進に当たる、ホストファミリー、ホストクラブ、スポンサークラブ、学校関係者の皆様のご協力に感謝し、国際理解推進プログラムの成功を支援します。

※新世代プロジェクトに地区内各クラブ、各グループでのご協力と、地区新世代小冊子活用をお願い致します。



地区ローターアクト委員会

委員長 五十嵐桂一（千歳RC）

1. 活動方針

ローターアクト会員の減少傾向に歯止めを掛ける為、提唱クラブの会長・幹事・担当委員長と連携を図り、アクト会員のレベルアップを目指す。

また、各クラブが地域に根ざした活動を進められる様に、指導及び援助を行う。

2. 活動計画

- ①ローターアクト地区行事に関する計画
地区大会・地区協議会の2大行事の成功、第2500地区との交流会の実施とサポート、海外研修の内容充実
- ②各アクトクラブ運営との連携
例会プログラム等の情報提供、提唱クラブとの合同例会開催の推奨
- ③その他

全国研修会への参加、ローターアクト週間（3月13日を含む1週間）のPR、休会中のアクトクラブの再開への働きかけ、地区新世代活動との協調（キャンプ等への参加）



地区インターアクト委員会

委員長 戸部 アナマリア（札幌はまなすRC）

1. 活動方針

青少年は次の世代を担う重要な存在です。

その青少年育成のための活動の一つとしてインターアクト委員会があります。インターアクト・クラブは「奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相共に活動する機会を14歳から18歳までの青少年に与える為」に結成されています。この方針を地区内ロータリアンに理解していただき、ご協力のもと、活動の拡大を計って参ります。

2. 活動計画

1. インターアクト・INTERACT（INTERNATIONAL ACTIONの略）についての理解と協力を地区内のロータリアン、学校関係者、ボランティア団体等の方々をお願いする。
2. 新世代、ローターアクト及青少年交換委員会の方々や関連するメンバーとの交流の場を持ち、ロータリーのスピリットを学ぶ機会を持つ。
3. 地区内のインターアクト・クラブの交流の場を持ち、お互いの活動状況等の情報交換を行う。
4. 地区内に新たにインターアクト・クラブを創立する。



地区青少年交換委員会

委員長 宮崎 善昭（札幌西RC）

1. 活動方針

ロータリアンの子弟が、参加できる唯一の国際プログラムで、高校生が外国に留学することにより国際見聞を広め、生活経験を通して人間同士のコミュニケーションや善意を知り、人間の共生や国際平和について考える機会とします。

1. 受け入れ学生のオリエンテーション、留学、生活指導を効果的に実施する。
2. 長期、短期派遣学生の募集・選考、オリエンテーションを円滑に実施する。
3. 受け入れのクラブとの連絡調整を密にし、留学生在が安心して日本の生活ができ、馴染めるよう配慮する。
4. 地区危機管理委員会に協力する。

2. 活動計画

- ①長期派遣受け入れ生6名（オーストラリア2名、アメリカ2名、カナダ1名、フィンランド1名）の実施。
- ②受け入れ生歓迎会、懇談会の実施。
- ③長期派遣生壮行会の実施。
- ④受け入れ学生、レクリエーションプログラムの実施（秋期キャンプ、スキーキャンプ）
- ⑤派遣学生、オリエンテーションの実施
- ⑥2007～2008年度2510地区地区大会参加
- ⑦サッポロインターナショナルナイト参加
- ⑧ROTEXとの交流



地区国際奉仕委員会

委員長 阿部 弘 (札幌北RC)

1. 活動方針

国際奉仕委員会は、世界社会奉仕（WCS）と国際友好委員会と国際同好委員会が、それぞれの目的にあわせて効果的に活動できるように最大限の支援を行う。すなわち、発展途上国を対象とした人道的支援プログラム及び外国地区との親善交流プログラムが効果的に遂行できるように努める。

2. 活動計画

1. 世界社会奉仕（WCS）委員会の活動を全面的に支援する。

①WCSではすでにタイ国のチェンマイ、ノンカイなどの検証を4事業終了した。そして、現在すでにタイ国チェンマイ、スリランカ、インドネシア、モンゴルなどの6事業を実施中である。この6事業を無事に終了させることを第一の目標とする。

②アジア諸国からの援助要請を検討し、地区内の支援クラブを支援し、コーディネーターとしての役割をはたす。WCSでは、現在、ネパール、カンボジアについて検討中である。

③過去のプログラムについて追跡調査し、可能な限り検証活動を続けるよう努める。

2. 国際友好委員会として、韓国の姉妹R I 第3700地区と多面的な情報交換を行い、親善友好プログラムを企画し、両地区ロータリアンの積極的な交流を図る。

3. 国際奉仕活動のPRと各クラブにおける国際関連事業計画や活動報告のために作られた「国際奉仕委員会だより」を、継続して発行してゆく。



地区世界社会奉仕委員会

委員長 出村 知佳子 (札幌北RC)

1. 活動方針

東南アジア諸国（タイ、スリランカ、インドネシア、ネパール、カンボジア等）を中心に相手国のロータリークラブとしっかりとした共同体制で有効な世界社会奉仕事業を実施する。

2. 活動計画

前年度また以前に実施されてきた世界社会奉仕事業の検証、確認をしていきながら、同時に有効な事業の継続支援を推進する。

また、地区内各クラブ、各世界社会奉仕担当者に事業に関する情報提供を行うことや、事業申請方法のシステム化、相手国との折衝の支援等を行う事により地区内各クラブの皆様が事業に参加しやすい環境を整え、全面的にサポートを行う事により、更に新しい世界社会奉仕事業の発掘や多くのクラブの皆様の世界奉仕社会事業への参加へと繋げていきたい。



地区国際友好委員会

委員長 矢橋 温郎 (札幌西RC・GE)

1. 活動方針

2004年度締結された韓国第3700地区との姉妹地区の友好関係を維持発展させてゆきたい。

2. 活動計画

ローターアクト、インターアクト、青少年交換、GSE交換等、主に新世代等の友好関係の他に東京で成功している女性会員の交流を実現したい。



地区米山記念奨学委員会

委員長 大石 春雄 (札幌はまなすRC)

1. 活動方針

米山記念奨学会の指命は、'将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する事'と掲げられております。これをふまえて、多くの会員の方々に米山奨学事業について、理解を深めていただき、さらには奨学生に援助の手を差し伸べていただけるよう、卓話や交流の機会を増やし、米山奨学事業の意義と感動を理解いただけるよう積極的な活動をしていきたい。

2. 活動計画

1. 委員会活動がスムーズに行えるよう、年3回程度委員会を開催する。
2. 10月の米山月間には、奨学生をホストしていないクラブを訪問し、奨学生にスピーチをしてもらう。併せてより多くの奨学生を援助できるように寄付のお願いをする。
3. 地区大会はもとより、他団体及び他委員会の行事に積極的に参加し、交流を深める。
4. 地区内奨学生、及び学友、多くのロータリアンと家族の交流を深め、国際親善の一助としたい。



地区米山学友委員会

委員長 米谷 龍三 (札幌東RC)

1. 活動方針

2007-08年度R Iのテーマは「ロータリーは分かちあいの心」です。単なるスローガンだけで終わらせるのではなく、学友委員として学友会員に対し「分かちあえる」場を更に増やし、「四つのテスト」に沿った活動を行う事を目指します。

2. 活動計画

- ①米山学友会名簿の修正及び追加
- ②学友会員との更なる交流と、精神的支援の構築
- ③米山月間に於ける各RCへの卓話
- ④米山記念奨学委員会主催の各種行事へ積極的参加
- ⑤長沼RC主催国際フェスティバルへの参加
- ⑥学友会総会及び懇親会の開催
- ⑦学友会家族懇親会の開催
- ⑧機関紙「米山だより(北海道)」の発行 以上、8項目を実践していきます。



地区ロータリー財団委員会

委員長 岩城 秀晴 (札幌南RC・PG)

1. 活動方針

ロータリー財団管理委員長ビチャイ・ラタクル元R I会長は、「私たちは、これからロータリーは分かちあいの心を実践して行く。皆様も率先してロータリーの理想を分かちあって行こう」。そして善行を行うか、学ぶために実施しましょう。1917年にアーチ・クランプが基金を創設したときのように善行を行うことが目標です。

2. 活動計画

1. 財団への毎年あなたも100ドルを寄付する。
2. 恒久基金、使途指定、大口寄付、ポール・ハリス・ソサエティへの協力
3. ロータリーカードへの協力
4. 各種のプログラムに積極的に参加する
5. 2007-2008年度、年次寄付の地区目標は30万ドルとします。



地区国際親善奨学金委員会

委員長 菅原 秀二 (札幌大通公園RC)

1. 活動方針

ロータリー財団の教育プログラムである国際親善奨学金は、国際理解と世界平和を促進するために、1947年初めての奨学生を送り出しました。留学期間中、ロータリーの国際親善奨学生は、留学先のロータリークラブの会合に出席して、ホスト国の人々に対する親善使節としての役割を果たすことが期待されていますし、留学終了後、奨学生は地元のホストクラブを中心に、留学中の体験について、報告することも期待されています。

当委員会では、こうした奨学生の選考とともに、留学に出発するまでのサポートもおこないますので、各クラブからの積極的な奨学生の応募を期待しますとともに、留学生を送り出すスポンサークラブになりました場合には、なお特段のご協力をお願いする次第です。

2. 活動計画

- | | |
|----------|--|
| 2007年 7月 | 08-09年度奨学生 第1回オリエンテーション
第1回委員会 (活動計画承認) |
| | 07-08年度奨学生 壮行会 |
| 8~9月 | 08-09年度奨学生 英文申請書作成指導、ロータリー財団へ申請書送付 |
| 10月 | 08-09年度奨学生 第2回オリエンテーション
第2回委員会 (09-10年度奨学生募集要項案の決定) |
| 12月 | 第3回委員会 (募集要項・ポスター作成・発送) |
| 2008年 3月 | 08-09年度奨学生 第3回 (最終) オリエンテーション (1泊の合宿予定)
第4回委員会 |
| 6月 | 09-10年度奨学生候補者最終面接選考
第5回委員会
08-09年度奨学生 壮行会 |

09-10年度 奨学生選考日程案

募集要項・ポスター印刷完成・送付作業	2007年12月
募集開始	2008年1月中旬
各クラブへの申請書提出締め切り	4月上旬
各クラブから奨学金委員会への提出締め切り	4月末
書類審査	5月中旬
面接選考	6月上旬
合格発表	6月下旬



地区GSE委員会

委員長 岡崎 芳明 (小樽南RC)

1. 活動方針

1. 地区内ロータリー会員にたいして、研究グループ交換事業の理解促進活動を積極的に行う。
2. 研究グループ交換事業の受け入れ、派遣に関わる費用の見直しを図り、研究グループ交換事業がより充実した気軽に実施出来る環境作りを行う。
3. 地区ロータリー財団事業を地区内ロータリー会員に理解していただけるよう、地区ロータリー財団事業に対して協力をしていく。
4. 更に魅力あるGSEプログラムに改良するために、プログラム内容の充実を検討する。

2. 活動計画

1. 今期はマレーシアRI3300地区とGSEメンバーの受け入れと派遣を行う
受け入れは9月25日受け入れから10月22日帰国
派遣は10月22日派遣から11月18日帰国
2. 毎月1回委員会を開催し、受け入れ派遣の準備に併せGSEプログラムの勉強を行う。
3. 2510地区内のクラブに対してGSEプログラムの理解を深めて頂く為、積極的に卓話にのぞめる体制を整える。
4. RI3300地区への派遣に向けて月一回の派遣研修を行う。
5. 受け入れと派遣の様態を出来るだけ素早くGSEホームページに掲載する様にし、ロータリー会員や広く世間にGSEプログラムを知らしめる。
6. 下半期には次々年度(2009年~2010年)のGSEプログラム交換地区の選定と交渉を始め、出来れば今期内に決定する。
7. 受け入れと派遣の事業報告書を作成する。
8. 受け入れホストファミリーの助成費を廃止し(05年~06年度承認済み)受け入れ派遣の同年度進行に対する経費の見直しをする。



地区財団学友委員会

委員長 桃井 康夫 (札幌清田RC)

1. 活動方針

- I 財団学友会の活動に対する助言と支援。
- II 財団学友のロータリー活動への参加促進。
- III 財団学友に対する、ロータリークラブ側の理解推進。
- IV 財団学友会の広報。啓蒙活動の推進。

2. 活動計画

1. 委員会の開催
※年間4回の委員会を開催。活動計画の検討と確認を行う。
2. 第4回帰国財団学友報告会及び学友会総会・懇親会の開催
開催日時：2008年2月前後予定
※海外に留学した財団国際親善奨学生とGSE団員の体験報告と帰国後の感想と今後の活動について発表する会。
3. 財団学友のクラブ例会での卓話機会の増進
※クラブの要望に応じて学友が卓話を行う機会を増進し、ロータリー財団の事業成果への理解を深めるように交流を図る。
4. 財団学友会賛助会員の賛助金拠出を推進
※財団学友の存在意義を高め、学友を活用すると共に賛助会員としてご支援をお願いする。

学友会の活動費として、クラブの賛助金は大きなウエイトを占めている。

5. 学友会活動状況を報告している学友ニューズレター発行の支援

※学友会設立以来、毎年発行している学友ニューズレターは、学友が学友会に興味と理解を深めていくと共に、ロータリアンのロータリー財団事業への理解を深めることに貢献しています。

6. 財団学友の地区大会への参加促進

※スポンサークラブからの積極的な働きかけをお願いする事が重要です。多くの学友が参加して、国際ロータリーへの理解を深めてほしいです。

7. 学友委員の増員



地区補助金委員会

委員長 朝倉正人 (札幌東RC)

1. 活動方針

補助金委員会は各ロータリークラブが人道的補助金を申請した場合、活動内容等の審査をし、委員会を開催し、ガバナー及び財団委員長出席のもとで決定し、最終報告を提出するに至るまで指導及び援助するのが主な役割です。

補助金の審査は、3年前のロータリー財団の寄付の状況、クラブの自主申告の実績表を参考にし、又活動内容を厳正に審査し判断して参ります。

2. 活動計画

地区補助金、個人向け補助金、マッチング・グラントの活動に援助することが役割でございます。各クラブでは職業奉仕、社会奉仕活動をしています。その中でクラブ独自の奉仕活動、地域活動に対して、又会員自ら汗を流す活動に補助金を支出するものであります。

補助金を活用するよう広報活動をしたい。

各クラブにおいて人道的プログラムを積極的に遂行し、地域に密着した社会奉仕に利用して戴き、社会奉仕委員会、世界社会奉仕委員会と連動することもよろしいし、その活動に助力して参ります。



地区補助金監督委員会

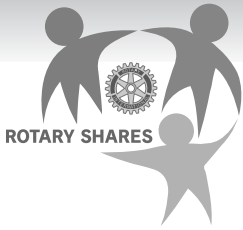
委員長 八木昌興 (札幌西RC)

1. 活動方針

- ・申請書審査は公平であるかどうか。
- ・地区会員の3分の2以上から賛同を得られるプロジェクトかどうか。
- ・クラブの負担、補助金の割合、会員の奉仕度合はどうか。
- ・ただの寄付行為又は賞品の提供などではないか。
- ・ロータリアン及びその関係者に補助金が使われていないか。

以上のことを基本にして補助金の監督をいたします。

補助金委員会の会議に出席をして監督をいたします。



2007 - 2008

国際ロータリー 第2510地区

地区大会

ホストクラブ / 函館五稜郭ロータリークラブ

ロータリー家族と共に・・・

10
20
土

第1日 函館市民会館 函館市湯川町1-32-1

会長・幹事会
本大会

懇親会
GSEフォーラム

10
21
日

第2日 ホテル函館ロイヤル 函館市大森町16番9号

会員増強セミナー
地区指導者育成セミナー

ごあいさつ



2007 - 2008年度
国際ロータリー
第2510地区
ガバナー

酒井 正人



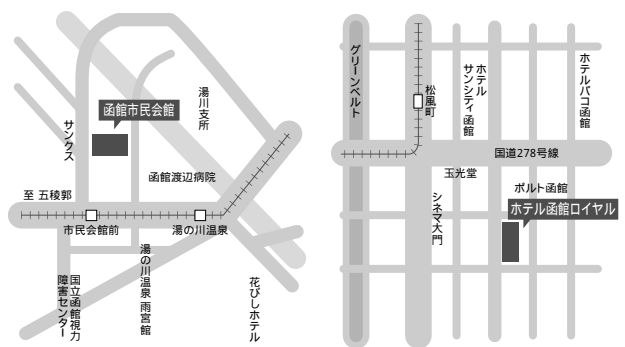
2007 - 2008年度
国際ロータリー
第2510地区
地区大会実行委員長

今 均

この度、函館の地で15年振りに地区大会が開催できますことを心より感謝申し上げます。ロータリーは1世紀の長きにわたり、戦争や災害、テロの被害など多くの困難を乗り越えて繁栄してまいりました。このことは、世界中のロータリアンが奉仕と親睦という共通の目的を持って熱い友情の輪を作りあげてきたからに他なりません。

今年度のテーマは「ロータリーは分かちあいの心」です。今回の地区大会で、多くのロータリアンが集い、出会いと友情を通して「分かちあいの心」について、大いに語り合い、地域や世界平和につながりますことを、心より御祈念申し上げます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会場ご案内



函館市民会館
函館市湯川町1-32-1 Tel 0138-57-3111

ホテル函館ロイヤル
函館市大森町16番9号 Tel 0138-26-8181

2007 - 2008年度
国際ロータリー第2510地区

地区大会事務局

〒040-0064 函館市大手町5-10 ニチロビル4階
TEL(0138)23-2500 FAX(0138)23-2502

新入会員の紹介

(敬称略)



札幌北RC
小林 俊之
07年7月2日入会



滝川RC
池田 亨
07年7月5日入会



滝川RC
山崎 修
07年7月5日入会



羽幌RC
竹内 秀樹
07年7月5日入会



羽幌RC
徳田 靖人
07年7月5日入会



苫小牧RC
宮本 知治
07年7月6日入会



苫小牧RC
魚山 和春
07年7月13日入会



岩見沢RC
西方 洋昭
07年7月20日入会



岩見沢RC
臼杵 努
07年7月27日入会

訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



菅原 剛太郎 (滝川RC)
70歳
平成19年7月6日逝去

ロータリー歴

1981年11月5日 入会
1999年～2000年度 第42代会長
2001年～2005年度 地区社会奉仕委員

表彰関係

- ロータリー財団
...メジャードナー・ベネファクター 2回
- (財)ロータリー米山記念奨学会
...米山功労者 7回

文庫通信 (238号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

先輩のロータリー観

- 「戦前の日本ロータリー」
直木太一郎 関西ロータリー研究会
1972 25 P
- 「温故知新 - ロータリーの今昔」
遠藤健三 D.263 1987 7 P
- 「佐々木孝三郎遺稿集(別刷)」
佐々木統一郎 1972 27 P

- 「常に心に四つのテストを」
富久力松 他 大阪R.C. 1983 35 P
- 「職業奉仕の研究」
前原勝樹 1980 18 P
- 「職業奉仕の勤どころ」
秦孝治郎 D.366 1971 93 P
- 「綱領の中の「奉仕」についての研究」
山下静雄 1979 3 P
- 「火種はみんな持っている(抄)」
松本兼二郎 八幡西R.C. 1969 31 P

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館 = 午前10時～午後5時
休館 = 土・日・祝祭日

例会曜日・例会時間・例会場の変更等について

長沼RC

7月23日(月)~9月10日(月)並びに2008年6月一杯の期間に限り、
例会時間を下記に変更しますので宜しくお願い致します。
例会時間：19：15~20：15(通常時間より15分繰り下げ)
8月13日(月)休 会(定款第5条第1節により)

岩見沢東RC

7月31日の例会を下記に変更します。
8月1日(水)美唄RC・岩見沢東RC合同ガバナー公式訪問 12：15~
場所：美唄ホテルスエヒロ
8月14日(火)休 会(定款第5条第1節により)

岩見沢RC

8月24日(金)の例会を下記に変更します。
8月21日(火)3クラブ合同納涼夜間例会 18：00~
場所：平安閣

長万部RC

7月1日より例会曜日を下記の通り変更しましたので宜しくお願い致します。
旧例会曜日：月曜日 新例会曜日：水曜日
毎月第2例会は18：00
例会時間、例会場所は従来通りです。

江別西RC

8月7日(火)の例会を下記に変更します。
8月4日(土)移動例会「友愛夏祭り」 11：30~
場所：友愛病院前
8月14日(火)休 会(定款第5条第1節により)

室蘭北RC

8月14日(火)休 会(定款第5条第1節により)
8月28日(火)夜間例会「クラブフォーラム」 18：30~
場所：ホテルサンルート室蘭

砂川RC

8月15日(水)休 会(定款第5条第1節により)

苫小牧RC

8月10日(金)夜間例会「会員・家族の納涼の夕べ」18：00~
場所：グランドホテルニュー王子

江別RC

8月16日(木)の例会を下記に変更します。
8月11日(土)夕涼み例会 17：30~
場所：江別市キャンプ場(江別市西野幌)

千歳RC

8月2日(木)移動例会(羽山石材見学)12：30~
8月16日(木)休 会(定款第5条第1節により)
8月23日(木)の例会を下記に変更します。
8月20日(月)移動夜間例会 18：30~ 場所：盆踊り会場

苫小牧東RC

8月9日(木)移動夜間例会に変更「ビールパーティ」 18：00~
場所：食道園(苫小牧市錦町1-5-7)
8月16日(木)休 会(定款第5条第1節により)

8月のロータリーレート：1ドル=122円

ロータリーの友

クラブ雑誌委員長用
2007 - 08年度 ロータリーの友委員会より抜粋

『ロータリーの友』は日本におけるロータリーの機関誌です。

『ロータリーの友』は、国際ロータリー（RI）の認可を受け、ロータリー・ワールド・マガジン・プレス（『THE ROTARIAN』とロータリー地域雑誌の総称）の一員として発行されているロータリーの地域雑誌です。地域雑誌としての『友』は、ロータリアンがロータリー・ライフを深めるためにも、またクラブが国際ロータリーと直結しているという確認のためにも必要な媒体である、ということをもまずご理解いただきたいと思えます。

RIでは、ロータリー地域雑誌の定義として、印刷媒体と電子媒体の両方をもって地域雑誌であると規定しています。それを受けて、ロータリーの友委員会ならびにロータリーの友事務所では、印刷媒体である月刊誌の『ロータリーの友』と電子媒体であるホームページ『ロータリージャパン』の制作、運営に当たっています。

『友』が「おもしろい」「おもしろくない」という発言の中には、ロータリーの雑誌として『友』が願っていることとは違う部分で議論されている傾向があります。『友』委員会の願いは、ロータリアン一人ひとりのためのロータリーについての広がりや深まりのための、いわばロータリー活動の視点からのおもしろさの有無です。それ故に、ゴシップを扱ったり、マンガを多用したり、歴史小説を連載することに『友』は組みしません。例えば歴史小説の連載がないから『友』は読まれない、のでしょうか。おそらく多くのロータリアンは否定されることでしょう。連載小説を掲載し、その部分が読まれたからといって、『友』の存在理由があるとはいえません。あくまでも「ロータリアンとしてどうか」が「おもしろい」や「おもしろくない」の議論より優先させた判断となるべきことで、各人の興味を満足させることが、この機関誌の発行目的ではありません。

（P2より抜粋）

ガバナー事務所からお願い

1. クラブの出席報告について

毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へ提出するようにお願い致します。
（FAX、メールもしくは電話可）

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。
また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告をお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

4. 各月ごとのクラブ会報について

当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

5. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1～2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切日は毎月10日です。（メールでも可）

ガバナー事務所

〒060 - 0042

札幌市中央区大通西11丁目4
大通藤井ビル3階

電話 (011)207 - 2510

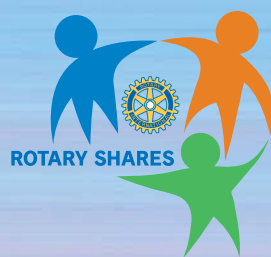
FAX (011)207 - 2512

E-mail : rid2510@nifty.com

執務時間：10：00～17：00（土・日・祝祭日休み）

地区カレンダー（8月・9月）

8月 会員増強月間		9月 新世代のための月間	
1 (水)	公式訪問(美唄RC、岩見沢東RC)	1 (土)	
2 (木)	公式訪問(江別RC、当別RC、江別西RC)	2 (日)	
3 (金)		3 (月)	公式訪問(札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌はまなすRC)
4 (土)			
5 (日)		4 (火)	公式訪問(札幌西RC)
6 (月)	公式訪問(三石RC、浦河RC)	5 (水)	
7 (火)	公式訪問(様似RC、えりもRC)	6 (木)	公式訪問(札幌東RC)
8 (水)	公式訪問(静内RC)	7 (金)	~ 8(土) 第9回ロータリー日韓親善会議(青森)
9 (木)		8 (土)	函館東RC創立50周年記念式典(函館)
10(金)		9 (日)	由仁RC創立15周年記念式典(由仁)
11(土)		10(月)	
12(日)		11(火)	公式訪問(小樽RC、小樽南RC、小樽銭函RC)
13(月)		12(水)	公式訪問(余市RC、岩内RC)
14(火)		13(木)	公式訪問(倶知安RC、蘭越RC)
15(水)		14(金)	札幌清田RC創立10周年記念式典(札幌) ~ 15(土) 地区親睦野球大会(伊達)
16(木)			
17(金)		15(土)	
18(土)		16(日)	~ 17(月) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー(東京)
19(日)			
20(月)	公式訪問(札幌南RC)	17(月)	敬老の日
21(火)		18(火)	
22(水)	公式訪問(札幌RC)	19(水)	公式訪問(苫小牧RC、白老RC)
23(木)	公式訪問(札幌手稲RC、札幌西北RC、札幌あけぼのRC)	20(木)	公式訪問(苫小牧北RC、苫小牧東RC)
		21(金)	
24(金)		22(土)	
25(土)		23(日)	秋分の日
26(日)	06 - 07派遣学生帰国報告・07 - 08受入学生オリエンテーション並びに歓迎会(札幌)	24(月)	振替休日
		25(火)	GSEメンバー受入(マレーシア第3300地区) 公式訪問(千歳RC・千歳セントラルRC)
27(月)		26(水)	公式訪問(恵庭RC・北広島RC・長沼RC・由仁RC)
28(火)	公式訪問(札幌セントラルRC、新札幌RC)	27(木)	公式訪問(函館RC)
29(水)	公式訪問(札幌真駒内RC)	28(金)	
30(木)	米山記念奨学会、理事会、評議員会(東京)	29(土)	
31(金)		30(日)	



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510